

取扱説明書

もくじ

制御盤・配電盤用 自動消火装置



モリタ宮田工業 株式会社

1. 仕様	1 ページ
2. 設置について	2・3 ページ
3. 維持・管理	4 ページ
4. 作動後の処置	4 ページ
5. お問い合わせ	4 ページ

この度は、制御盤・配電盤用自動消火装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本商品は制御盤・配電盤内の初期消火を目的とした自動消火装置です。
炎センサーが異常な紫外線の発生を検出し、消火剤を放出します。
安全にご使用いただくために、本書を必ずお読みください。
お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

安全上のご注意

誤った使い方をすると、破裂等により重大な人身事故が発生する恐れがあります。
正しく安全にご使用ください。
本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから、お読みください。

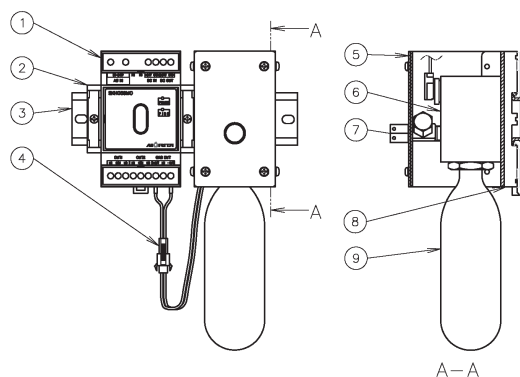
- ⚠ 警告** 死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
- ⚠ 注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

 この表示は、してはいけない
「禁止」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく
「強制」内容です。

1. 仕様

※構成例 (RSC0601)



炎 セ ン サ ー	紫 外 線 検 出 方 式
消 火 剤	二 酸 化 炭 素 6 0 g × 1 ～ 3 本
電 源	AC85～240VまたはDC24V
質 量 (g)	約 1,100 ～ 2,900
寸 法 (m m)	高さ約200×幅約150～290×奥行約90

各部名称

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| ①炎センサー | ④コネクタ | ⑦放出口組 |
| ②止め金具 | ⑤起動部カバー | ⑧DIN レール取付板 |
| ③DIN レール | ⑥起動部組 | ⑨消火剤容器 |

2. 設置について

次の手順に従って設置してください。

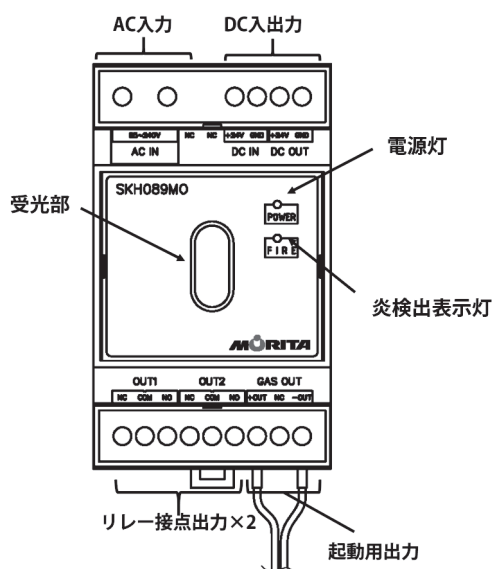


警告

- ⊗ この消火装置の消火剤容器の内部は高圧です。強い衝撃を与えないでください。
- ⊗ 高温となる場所に保管、設置しないでください。

1 電源線の接続

使用される電源に合わせて電源線を接続してください。(AC 入力 or DC 入出力)



炎センサー外観



注意

- ❗ 電気工事を伴う場合は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- ❗ 配線作業は電源が遮断されていることを確認して行ってください。

2 遅延タイマーの設定

炎センサーは最短 0.5 秒で異常な紫外線を検出しますが、遅延タイマーを設定することもできます。設定すると設定した秒数連続で検出した場合のみ動作するようになります。

遅延タイマーの設定は炎センサー裏面の DIP-SW にて設定してください。(0.5、1 ～ 31 秒)

設定したい秒数に対応した DIP-SW を ON にします。

(全て OFF で遅延なし＝0.5 秒、全て ON で 31 秒)

DIP-SW の設定秒数は電源の投入時に読み込まれますので、変更した場合は必ず電源を再投入してください。

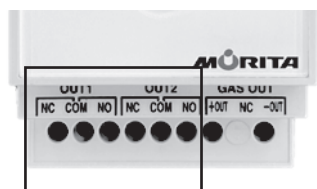
工場出荷時は 4 秒 (DIP-SW6) のみ ON に設定されています。



1. NC(不使用)
2. NC(不使用)
3. NC(不使用)
4. タイマー設定 (1 秒)
5. タイマー設定 (2 秒)
6. タイマー設定 (4 秒)
7. タイマー設定 (8 秒)
8. タイマー設定 (16 秒)

3 出力について

炎センサーが紫外線を検出した場合は OUT 接点内部のリレーが働き、信号が出力されます。出力は紫外線が検出されなくなって約 30 秒後まで保持されます。



リレー接点出力 ×2

NC(Normal Closure) : 常時閉
COM(Common) : 共通接点
NO(Normal Open) : 常時開

接点容量 AC125V/0.5A
DC24V/1A

4 本体ユニットの設置

付属の DIN レールごと設置、または付属の DIN レールから炎センサーと起動部等を取り外し、盤内の DIN レールに取り付けてください。



注意

- ❗ 炎センサーは紫外線を高感度で検出しますので炎以外にも直射や反射にて検出するものがあります。設置の際は周囲の環境等にご注意ください。

誤作動の原因(炎以外で紫外線を発するもの)

- ハロゲンランプ
- 水銀灯などの放電灯
- 殺菌灯および殺虫灯
- 溶接の火花や電気スパーク
- 雷などの放電現象
- その他紫外線を発するもの

5 設置後の動作確認

⚠ 注意

- ❗ 電源を入れる際は炎センサー側のコネクタに付属のダミーコネクタを接続してください。
起動部と接続した状態で電源を入れると、直後に消火剤が放出された場合に危険です。
次の手順で動作確認し、炎センサーが確実に復旧したことを確認の上で起動部を接続してください。

確認項目	操作方法	表示および作動内容
結線部	配線は問題なく接続されているか。	外観チェック
出力コネクタ	起動用出力側にダミーコネクタが接続されているか。	外観チェック
電源	電源投入	電源用LED点灯(青)
作動試験	センサー素子部に紫外線投光器等で紫外線を照射する。	タイマー設定時間経過後、炎検出確認用LED(赤)が点灯し、ダミーコネクタが点滅(1回)する。
復旧確認	紫外線の照射を止めてから約30秒後自動復旧する。	約30秒経過後、炎検出確認LEDが消灯

3. 維持・管理

定期点検などの際は誤作動を避けるため事前に周囲の環境をご確認ください。
製造年月から8～10年での交換を推奨しています。製造年月はボンベラベルに記載されています。

⚠ 注意

- ❌ 消火装置の分解・改造はしないでください。
分解・改造は破裂、誤作動、不作動の原因となるおそれがあります。
- ❌ 掃除の際は、有機溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー等)や中性洗剤等を使用しないでください。
消火装置を掃除するときは、柔らかい布等で、きれいに拭いてください。
- ❗ 異常な点を見つけたとき、整備、交換の際は、販売店、または当社のお客さま相談室にご連絡ください。

4. 作動後の処置

消火剤放出後は起動部組や消火剤容器の交換が必要です。

※一度放射したものはこれらの部品を交換しないと再使用できません。販売店、または当社のお客さま相談室にご連絡ください。

5. お問い合わせ

ご質問やご不明なことがございましたら、販売店、または当社のお客さま相談室にお問い合わせください。

お客さま相談室 TEL 0467-85-1210

(平日 9:00～12:00/13:00～17:00, 土日祝休)

モリタ宮田工業 株式会社

〒253-8588 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1